

認定第10号

平成29年度芽室町公立芽室病院事業会計決算認定の件

地方公営企業法第30条第4項の規定により、平成29年度芽室町公立芽室病院事業会計歳入歳出決算を議会の認定に付するものであります。

平成30年9月3日提出

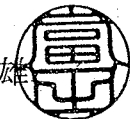
芽室町長 手 島 旭

平成29年度芽室町各事業会計収支決算審査意見書

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第30条第2項の規定に基づき、平成30年6月18日審査に付された平成29年度芽室町各事業会計決算について審査した結果、次のとおり報告します。

平成30年8月23日

芽室町監査委員 富田明雄



芽室町監査委員 西尾一則



芽室町長 手島旭様

## 1 審査の対象

- (1) 平成29年度 芽室町上水道事業会計歳入歳出決算
- (2) 平成29年度 芽室町公立芽室病院事業会計歳入歳出決算

## 2 審査の期間

平成30年6月28日から7月6日までのうち4日間

## 3 審査の方法

平成29年度の芽室町上水道事業会計及び芽室町公立芽室病院事業会計決算審査にあたっては、審査に付された決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分(欠損金処理)計算書、貸借対照表のほか決算付属書類としての事業報告書、キャッシュ・フロー計算書、決算明細書、固定資産明細書、企業債明細書等と証書類、試算表、総勘定元帳を照合点検し、計算の正確性、予算執行上の適否について審査し、かつ決算諸表が関係法令に準拠し作成されているか、経営内容及び財産管理の実態が適正確実に表示・保管され、請負契約・委託契約等が適正に取りかわされ契約のとおり実施されているか、更に一般会計からの繰入が適正に処理されているか等について審査を実施いたしました。

## 4 決算の概要及び審査意見

平成29年度の芽室町上水道事業会計及び芽室町公立芽室病院事業会計決算審査の結果、決算報告書及び各財務諸表は地方公営企業法その他の関係法令に準拠し、計数は関係諸帳簿、証拠書類等に正確に記帳され、2事業の執行状況は適正なものと認めました。

なお、決算の概要は次のとおりです。

## 芽室町上水道事業会計

平成29年度における芽室町上水道事業会計の決算状況は次のとおりです。

### 1 収益的収入及び支出

#### (1) 収益的収入（消費税を除く）

##### ・営業収益

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
給 水 収 益	382,470,038	375,390,735	7,079,303	101.9%
その他営業収益	10,641,920	10,489,188	152,732	101.5%
計	393,111,958	385,879,923	7,232,035	101.9%

##### ・営業外収益

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
他会計補助金	179,800	18,935,681	△ 18,755,881	0.9%
長期前受金戻入	52,620,767	43,696,824	8,923,943	120.4%
雑 収 益	6,856,096	6,671,950	184,146	102.8%
計	59,656,663	69,304,455	△ 9,647,792	86.1%

#### ※ 収益的収入合計

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
収益的収入合計	(489,980,097)	(486,561,302)	(3,418,795)	100.7%
	452,768,621	455,184,378	△ 2,415,757	99.5%

上欄( )内は、消費税込みの数値です。

営業収益は、前年度比 7,232,035円(1.9%)増の 393,111,958円で、そのうち給水収益において7,079,303円(1.9%)の増であります。平成28年度は、台風10号災害の影響により減少していた水道使用量が、平成29年度には回復したことが主な要因です。

営業外収益では、9,647,792円(13.9%)減の 59,656,663円で、そのうち他会計補助金において 18,755,881円の減であります。減額の主な要因は、平成28年の台風10号災害による被災者減免分として一般会計から繰り入れされた補助金が、平成29年度は皆減となったことによるものであります。

収益的収入合計では、前年度比 2,415,757円(0.5%)減の 452,768,621円であります。

## (2) 収益的支出 (消費税を除く)

## ・営業費用

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
原水及び浄水費	133,627,430	128,436,353	5,191,077	104.0%
配水及び給水費	6,290,900	4,874,500	1,416,400	129.1%
業 務 費	13,018,877	16,875,370	△ 3,856,493	77.1%
総 係 費	20,569,725	24,217,162	△ 3,647,437	84.9%
減価償却費	185,039,406	178,005,785	7,033,621	104.0%
資産減耗費	16,718,643	1,844,666	14,873,977	906.3%
計	375,264,981	354,253,836	21,011,145	105.9%

## ・営業外費用

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
支払利息及び 企業債取扱諸費	36,939,673	40,439,581	△ 3,499,908	91.3%
計	36,939,673	40,439,581	△ 3,499,908	91.3%

## ・特別損失

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
固定資産売却損	550,988	468,326	82,662	117.7%
計	550,988	468,326	82,662	117.7%

## ※ 収益的支出合計

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
収益的支出合計	(431,775,210)	(416,246,811)	(15,528,399)	103.7%
	412,755,642	395,161,743	17,593,899	104.5%

上欄( )内は、消費税込みの数値です。

営業費用は、前年度比 21,011,145円(5.9%)増の 375,264,981円で、増額の主な要因は、第6期拡張工事に伴い、浄水場施設の更新を行ったことにより資産減耗費が増加したためであります。

営業外費用は、前年度比 3,499,908円(8.7%)減の 36,939,673円で、特別損失 550,988円を加えると、収益的支出合計では、前年度比 17,593,899円(4.5%)増の 412,755,642円であります。

この結果、収益的収入合計 452,768,621円、収益的支出合計 412,755,642円で、当年度の純利益は 40,012,979円であります。

純利益に前年度繰越利益剰余金 155,961,045円、その他の未処分利益剰余金変動額 27,586,980円を加えた当年度未処分利益剰余金は、223,561,004円であります。

## 2 資本的収入及び支出

### (1) 資本的収入

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
企 業 債	220,100,000	105,800,000	114,300,000	208.0%
固定資産売却代金	365,820	615,390	△ 249,570	59.4%
計	(220,495,085)	(106,464,621)	(114,030,464)	207.1%
	220,465,820	106,415,390	114,050,430	207.2%

上欄( )内は、消費税込みの数値です。

### (2) 資本的支出

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
配水本管整備費	26,820,000	27,200,000	△ 380,000	98.6%
給 水 設 備 費	20,318,800	30,493,660	△ 10,174,860	66.6%
第6期拡張事業費	180,625,907	71,567,152	109,058,755	252.4%
企業債償還金	146,417,886	140,895,185	5,522,701	103.9%
計	(392,403,766)	(280,496,857)	(111,906,909)	139.9
	374,182,593	270,155,997	104,026,596	138.5

上欄( )内は、消費税込みの数値です。

資本的収入が資本的支出に対して、不足する額 171,908,681円(消費税込み)は、当年度分損益勘定留保資金 149,137,282円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 18,191,908円及び繰越利益剰余金処分額 4,579,491円で補てんし、資金収支の均衡が図られております。

企業債償還金は、平成28年度末未償還残高は 1,708,010,195円で、平成29年度に 220,100,000円を借入、146,417,886円を償還し、平成29年度末未償還残高は 1,781,692,309円となっております。

### (3) 建設改良工事の概要(消費税込み)

- ① 配水本管整備事業(石綿管から铸铁管への布設換) 508.05m 28,965,600円
- ② 第6期拡張事業 172,108,800円  
芽室浄水場深井戸施設更新工事(電気・機械、土木・建築)、芽室浄水場  
浄水濁色度計更新工事、坂の上2号配水池テレメータ更新工事、雄馬別地  
区末端配水管布設工事(第1配水区、第2配水区)
- ③ 検満量水器工事(1~6工区) 691台 10,281,600円
- ④ 量水器の購入 11,662,704円  
検満更新用量水器 691台、新設用量水器 77台

### 3 予算執行状況

#### (1) 収益的収支

##### ・収益的収入(消費税込み)

(単位:円)

項目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
水道事業収益	474,072,000	489,980,097	15,908,097	103.4%
営業収益	419,395,000	424,529,330	5,134,330	101.2%
営業外収益	54,677,000	65,450,767	10,773,767	119.7%

##### ・収益的支出(消費税込み)

(単位:円)

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
水道事業費用	444,509,000	431,775,210	12,733,790	97.1%
営業費用	399,661,000	387,456,249	12,204,751	96.9%
営業外費用	44,144,000	43,767,973	376,027	99.1%
特別損失	704,000	550,988	153,012	78.3%
予備費	29,563,000	0	29,563,000	0.0%
計	474,072,000	431,775,210	42,296,790	91.1%

水道事業収益は予算執行率が103.4%で、水道事業費用の予備費を除いた予算執行率は97.1%であり、予算の執行状況は概ね適正であると認めます。

#### (2) 資本的収支

##### ・資本的収入(消費税込み)

(単位:円)

項目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
資本的収入	238,430,000	220,495,085	△ 17,934,915	92.5%
企業債	238,200,000	220,100,000	△ 18,100,000	92.4%
固定資産売却代金	230,000	395,085	165,085	171.8%

##### ・資本的支出(消費税込み)

(単位:円)

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
			(翌年度繰越額)	(翌年度繰越額を除く)
資本的支出	415,642,000	392,403,766	17,124,234	94.4%
			(6,114,000)	(95.8%)
建設改良費	269,224,000	245,985,880	17,124,120	91.4%
			(6,114,000)	(93.5%)
企業債償還金	146,418,000	146,417,886	114	100.0%

資本的収入の予算執行率は92.5%、資本的支出の予算執行率は94.4%で、翌年度繰越額を除いた執行率は95.8%であります。

## 4 水道使用料の未収状況及び不納欠損額

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
現 年 度	8,285,293	8,346,383	△ 61,090	99.3%
過 年 度	5,891,933	6,483,804	△ 591,871	90.9%
計	14,177,226	14,830,187	△ 652,961	95.6%
不納欠損額	254,547	1,877,401	△ 1,622,854	13.6%

## 参考 平成27年度から過去4年間

(単位:円)

区 分	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
現 年 度	7,791,078	8,524,600	10,181,089	9,678,235
過 年 度	8,598,614	9,575,688	13,272,773	14,745,386
計	16,389,692	18,100,288	23,453,862	24,423,621
不納欠損額	927,915	3,988,640	1,995,275	2,052,270

水道使用料については、未納者に対する納入相談や電話、催促強化及び給水停止等により現年度分収納率は98.0%(前年度比0.1ポイント増)、過年度分収納率58.6%(前年度比9.6ポイント増)で、未収額は14,177,226円となっており、前年度と比較し652,961円減少しています。

また、不納欠損額にあつては、前年度は537件1,877,401円に対し、平成29年度は102件254,547円で1,622,854円の減であります。

以上、平成29年度芽室町上水道事業会計の決算状況を申し上げましたが、平成29年度も平成28年度に引き続き上水道事業施設整備基本計画に基づき、自己水源の確保や災害時の対応を含めた主要施設整備として、芽室浄水場深井戸施設更新工事など、健康で快適な町民の生活を支える重要なインフラとして、供給体制の整備充実を図ってきたところであります。

一方、水道事業を取り巻く状況は、給水人口・給水戸数ともに減少しており、将来にわたりこの状況が続くことが予測される中、安定給水の確保や経営の安定化を図るためには、給水収益の動向を踏まえた財源確保対策が必要であると共に、町民の水道事業に対する理解が大きな課題と考えます。

施設管理における漏水の早期発見・修理等施設の維持管理に万全を期し、引き続き有収率の向上に努め経営の合理化、健全化を図り経費の縮減に努められることを期待するものであります。

併せて、水道使用料は受益に応じた費用を負担することが公平の原則であり、公平性確保の観点からも、不納欠損が発生しないよう一層の収納率の向上に努められ、公営企業の基本原則である経済性を発揮するとともに、町民の生活用水の確保と給水サービスの向上を期待するところであります。



芽室町公立芽室病院事業会計

平成29年度における芽室町公立芽室病院事業会計の決算状況は次のとおりです。

1 収益的収入及び支出

(1) 収益的収入（消費税を除く）

・ 医業収益

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
入 院 収 益	968,354,594	1,024,051,755	△ 55,697,161	94.6%
外 来 収 益	620,586,341	635,585,668	△ 14,999,327	97.6%
その他医業収益	227,900,556	221,128,226	6,772,330	103.1%
計	1,816,841,491	1,880,765,649	△ 63,924,158	96.6%

・ 医業外収益

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
他 会 計 負 担 金	43,525,000	47,559,000	△ 4,034,000	91.5%
他 会 計 補 助 金	264,687,000	257,178,000	7,509,000	102.9%
患者外給食収益	2,055,769	2,319,465	△ 263,696	88.6%
長期前受金戻入	33,639,629	36,371,544	△ 2,731,915	92.5%
その他医業外収益	33,258,335	31,374,396	1,883,939	106.0%
計	377,165,733	374,802,405	2,363,328	100.6%

※ 収益的収入合計

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
収益的収入合計	(2,201,558,405)	(2,263,409,034)	(△61,850,629)	97.3%
	2,194,007,224	2,255,568,054	△ 61,560,830	97.3%

上欄（）内は、消費税込みの数値です。

収益的収入の医業収益のうち入院収益は、前年度比 55,697,161円 (5.4%)減の 968,354,594円、外来収益は、前年度比 14,999,327円 (2.4%)減の 620,586,341円で、医師の交代及び退職等による影響が主な要因であります。

また、医業外収益は前年度比 2,363,328円 (0.6%)増の 377,165,733円で、一般会計からの繰入金が多かったことが主な要因であります。

収益的収入合計では、前年度比 61,560,830円 (2.7%)減の 2,194,007,224円であります。

## (2) 収益的支出 (消費税を除く)

## ・ 医業費用

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
給 与 費	1,573,700,615	1,578,861,020	△ 5,160,405	99.7%
材 料 費	240,388,663	259,471,860	△ 19,083,197	92.6%
経 費	396,612,430	396,563,658	48,772	100.0%
減価償却費	152,818,113	182,094,707	△ 29,276,594	83.9%
資産減耗費	3,910,927	3,888,493	22,434	100.6%
研究研修費	9,261,237	12,035,537	△ 2,774,300	76.9%
計	2,376,691,985	2,432,915,275	△ 56,223,290	97.7%

## ・ 医業外費用

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
支払利息及び 企業債取扱諸費	7,831,618	8,337,344	△ 505,726	93.9%
患者外給食材料費	2,599,963	2,813,031	△ 213,068	92.4%
雑 損 失	42,320,029	44,142,259	△ 1,822,230	95.9%
運営委員会費	102,553	67,018	35,535	153.0%
看護師確保経費	300,000	0	300,000	皆増
計	53,154,163	55,359,652	△ 2,205,489	96.0%

## ※ 収益的支出合計

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比(%)
収益的支出合計	(2,419,761,410)	(2,476,869,478)	(△57,108,068)	97.7%
	2,429,846,148	2,488,274,927	△ 58,428,779	97.7%

上欄( )内は、消費税込みの数値です。

収益的支出の医業費用は、前年度比 56,223,290円(2.3%)減の 2,376,691,985円、医業外費用は、前年度比 2,205,489円(4.0%)減の 53,154,163円で、収益的支出合計では、58,428,779円(2.3%)減の 2,429,846,148円となり、当年度の純損失は 235,838,924円であります。

この結果、前年度繰越欠損金 378,248,405円に、当年度純損失 235,838,924円を加えた当年度未処理欠損金は 614,087,329円であります。

## 2 資本的収入及び支出

### (1) 資本的収入

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
企 業 債	10,000,000	21,300,000	△ 11,300,000	46.9%
繰 入 金	4,050,000	4,794,000	△ 744,000	84.5%
寄 附 金	5,672,908	4,380,404	1,292,504	129.5%
長期貸付金償還金	300,000	300,000	0	100.0%
計	(20,022,908) 20,022,908	(30,774,404) 30,774,404	(△10,751,496) △ 10,751,496	65.1% 65.1%

上欄( )内は、消費税込みの数値です。

### (2) 資本的支出

(単位:円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減	前年度比
有形固定資産購入費	30,847,523	33,635,383	△ 2,787,860	91.7%
施 設 費	8,582,783	6,636,476	1,946,307	129.3%
企業債償還金	68,381,298	35,415,417	32,965,881	193.1%
計	(107,973,711) 107,811,604	(75,850,725) 75,687,276	(△32,122,986) 32,124,328	142.4% 142.4%

上欄( )内は、消費税込みの数値です。

資本的収入が資本的支出に対して、不足する額 87,950,803円(消費税込み)は、当年度分損益勘定留保資金 87,788,696円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 162,107円で補てんし、資金収支の均衡が図られております。

なお、資本的支出において、有形固定資産購入費として企業債借入れ及び国保特別会計繰入金等により、分娩台・分娩監視装置、自動視野計、大腸ビデオスコープ等の器械及び備品購入並びに病院施設の蒸気ボイラー更新工事を行っております。

## 3 予算執行状況

### (1) 収益的収支

#### ・収益的収入(消費税込み)

(単位:円)

項 目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
病院事業収益	2,322,340,000	2,201,558,405	△ 120,781,595	94.8%
医業収益	1,948,900,000	1,823,616,172	△ 125,283,828	93.6%
医業外収益	373,440,000	377,942,233	4,502,233	101.2%

・収益的支出(消費税込み)

(単位:円)

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
病院事業費用	2,468,455,000	2,419,761,410	48,693,590	98.0%
医業費用	2,447,409,000	2,403,043,553	44,365,447	98.2%
医業外費用	19,046,000	16,717,857	2,328,143	87.8%
予備費	2,000,000	0	2,000,000	0.0%

病院事業収益は予算執行率が94.8%で、予算額に対し決算額は120,781,595円下回っており、その主なものは入院収益の減少によるものであります。また、病院事業費用は予算執行率が98.0%で、不用額の主なものは医業費用の給与費、材料費及び経費によるものであります。

(2)資本的収支

・資本的収入(消費税込み)

(単位:円)

項目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
資本的収入	20,023,000	20,022,908	△92	100.0%
企業債	10,000,000	10,000,000	0	100.0%
繰入金	4,050,000	4,050,000	0	100.0%
寄附金	5,673,000	5,672,908	△92	100.0%
償還金	300,000	300,000	0	100.0%

・資本的支出(消費税込み)

(単位:円)

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
資本的支出	107,976,000	107,973,711	2,289	100.0%
建設改良費	39,594,000	39,592,413	1,587	100.0%
企業債償還金	68,382,000	68,381,298	702	100.0%

資本的収入及び支出は、いずれも予算執行率は100.0%であります。

4 企業債及び一時借入金の状況

(1)企業債

(単位:円)

前年度末繰越残高	平成29年度中		次年度以降繰越額
	借入額	償還額	
660,006,458	10,000,000	68,381,298	601,625,160

(2)一時借入金

(単位:円)

前年度末借入残高	平成29年度中		次年度以降繰越額
	借入額	償還額	
100,000,000	650,000,000	400,000,000	350,000,000

企業債は建設改良事業に要する経費の財源とするため 10,000,000円を借り入れ、一時借入金は年度内及び年度末資金不足を見込み、一般会計から 300,000,000円、町内金融機関から 350,000,000円を借り入れております。

## 5 業務量

### (1)入院収益

項目	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
病床利用率	61.2%	63.2%	61.3%	75.1%
1日平均入院患者	91.8人	94.8人	92.0人	112.7人
1人1日当たり収入	28,908円	29,584円	30,587円	28,552円

### (2)外来収益

項目	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
1日平均外来患者	311.3人	331.4人	344.6人	355.9人
1人1日当たり収入	8,333円	8,059円	7,998円	7,818円

業務量では、入院における病床利用率は 61.2%と前年度比 2.0ポイント減となっており、入院患者数は1日当たり 91.8人で前年度比 3.0人の減、1人1日当たりの収入では 28,908円で前年度比 676円の減であります。

外来患者は1日当たり 311.3人で前年度比 20.1人の減、1人1日当たり外来収入は 8,333円で前年度比 274円の増であります。

業務量の基準となる患者数は、入院・外来ともに前年度と比較して減少しており、病床利用率は3年連続で70%を下回っております。また、外来患者は平成26年度から減少傾向にあり、患者離れが続いております。

## 6 職員数

### 各年度末職員数

(単位:人)

項目	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
医師	12	14	15	14
助産師・看護師	69	75	73	71
准看護師	2	3	3	5
医療技術者	23	22	21	22
事務職員	11	10	10	10
その他職員	2	2	2	3
計	119	126	124	125

職員数を各年度末で見ると、医師は年度当初14人体制でしたが、年度途中に1人の増員はあったものの、3人の退職があり、結果として12人で前年度比で 2人減となり、特に内科の医師が不足している状態にあります。また、看護師は69人で、前年度比6人の減となっております。

以上、平成29年度公立芽室病院事業会計決算状況を申し上げますが、本業の経営成績を示す医業収支は、医業収益 1,816,841,491円に対し、医業費用は 2,376,691,985円であり、559,850,494円の損失となり、これに、医業外収益 377,165,733円及び医業外費用 53,154,163円を加えた収益的収支では 235,838,924円の純損失となりました。

平成29年度は年度当初から医師14人体制で診療を行い、医業収益の改善を期待したところですが、年度途中に小児科医師1人の増員はあったものの、内科医師及び産婦人科医師の退職もあり、入院・外来ともに患者数は伸び悩み、医業収益は前年度を下回る結果となりました。

特に入院にあつては病床利用率が 61.2%と、3年連続で70%を大きく下回っており、安定的な患者数の確保と医業収益増加に向けた取り組みが喫緊の課題となっております。

また、通常の業務活動の実施に係る運転資金の動態においても、年度内及び年度末の資金不足解消に向け、一般会計及び金融機関から一時借入れを行うなど運転資金の減少が顕著となっており、運営の効率化など更なる経営改善を図る必要があります。

このような状況を踏まえ、本町では(1)一般会計負担基準の検証、(2)効率的な病床運営と病床機能の検証、(3)住民ニーズや採算性を総合的に判断した上での診療科の廃止・休止の検討などを新たに盛り込む「公立芽室病院 新・改革プラン」の改定作業を進めているところであり、住民の健康と生命を守るため、安定的かつ継続的な安心と信頼の医療提供の役割と経営の健全化に向け、その着実な実行を期待するものであります。

今後も医師・看護師を始めとする必要な医療提供体制の安定確保を図り、医療・看護の高度で良質なサービスの提供に努められ、住民から信頼される地域の基幹病院としての責務を果たすとともに、安定的かつ自立的な経営の下で、良質な医療を継続して提供できる診療体制が構築されることを切に望むものであります。